



造性をじゅうぶんに發揮し、新しい授業のあり方を求める研究実践を進めることが、なによりも必要なことではないでしょうか。

本号では、このような意味で研究・実践を取り組んでこられた教師の優れた報告と、研究指定校の実践のいくつかを紹介したので、今後の研究・実践の参考にしていただきたい。